



## 町消防団機動演習を視察

町議会では、2月4日に夕田地内で行われた町消防団機動演習を視察しました。

### 主な内容

第1回定例会	2
委員会報告	5
令和6年度施政方針	6
町政Q & A一般質問	10
議会活動・編集後記	19
これが知りたい！！	20



第1回

# 定例会

令和6年度予算決まる

## 一般会計予算は34億3,900万円

令和6年3月6日から3月定例会が開催され、令和6年度富加町一般会計予算などの議案を議決しました。

### 議会の動き

3月定例会では冒頭、板津町長から令和6年度の予算編成大綱を含めた施政方針が説明されました。

上程議案では、専決処分の承認案件5件、条例案件13件、町道路線の廃止・認定2件のほか、予算案件10件が町長から提案され、いずれの議案も原案のとおり可決しました。

会期は10日間 開会3月6日 閉会3月15日

3月 6日 (水)	本会議 開会、議案上程・説明
3月 7日 (木)	全員協議会 議案の詳細説明、質疑等
3月11日 (月)	総務産業建設常任委員会
3月12日 (火)	文教厚生常任委員会
3月14日 (木)	全員協議会 議案の詳細説明、質疑等
3月15日 (金)	本会議 一般質問、質疑、討論、採決、閉会

### 専決処分

#### 富加町印鑑条例の一部改正

**ポイント** 公的個人認証法の改正に伴い、コンビニ交付時にスマートフォンを使用した印鑑登録証明書の交付が受けられるように交付申請方法を規定するもの。(令和5年12月25日専決)

#### 富加町手数料徴収条例の一部改正

**ポイント** 戸籍法の改正に伴い、戸籍の電子証明書提供用識別符号の手数料を規定するもの。(令和5年12月25日専決)

#### 令和5年度 一般会計補正予算(第7号)

補正額 4,899万6千円 総額 34億8,616万円

**ポイント** 電力・ガス・食料品等価格高騰重点支援として、1人当たり3千円のとみか元気振興券(その6)事業に係る経費2,056万5千円等を追加。財源は財政調整基金(国からの交付金充当)等が充てられました。(令和5年12月25日専決)

#### 令和5年度 一般会計補正予算(第8号)

補正額 1,800万円 総額 35億416万円

**ポイント** ふるさと納税寄附額の増加に伴い、返礼品等に係る経費802万8千円等を追加。財源は寄附金等が充てられました。(令和6年2月7日専決)

#### 令和5年度 国民健康保険特別会計補正予算(第3号)

補正額 700万円 総額 6億6,028万9千円

**ポイント** 一般被保険者高額療養費の不足分700万円を追加。財源は県からの交付金が充てられました。(令和6年2月7日専決)



# 条例の制定



## 富加町新庁舎施設整備基金条例の制定



役場新庁舎の建設に要する経費の財源を積み立てるため制定するもの。

# 条例の一部改正



## 富加町行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部改正



行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律等の一部改正に伴う所要の改正。

## 富加町監査委員条例及び富加町水道事業及び下水道事業の設置等に関する条例の一部改正



地方自治法の一部改正に伴い、引用する条ずれの改正を行うもの。

## 富加町常勤の特別職職員の給与に関する条例の一部改正



特別職報酬等審議会の答申に基づき常勤の特別職職員の給与を改正するもの。

## 富加町職員の給与に関する条例の一部改正



行政職給料表級別基準職務表の一部を羅列する形式から職種名に統一する所要の改正。

## 富加町会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例等の一部改正



地方自治法の一部改正に伴い、会計年度任用職員に勤勉手当を支給することについての所要の改正。

## 富加町職員の特殊勤務手当に関する条例の一部改正



大規模地震等の災害の発生時において、職員を派遣する場合に災害地派遣手当を追加するもの。

## 富加町行政財産の目的外使用に係る使用料徴収条例の一部改正



町条例に規定する使用料に係る消費税を内税表記から外税表記に改正するもの。

## 富加町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正



特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業並びに特定子ども・子育て支援施設等の運営に関する基準及び子ども・子育て支援法施行規則の改正に伴い、引用箇所等を改正するもの。

## 富加町介護保険条例の一部改正



令和6年から令和9年までの第9期介護保険事業計画に基づく保険料率の変更に伴う所要の改正。

## 富加町町営住宅管理条例の一部改正



配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護等に関する法律の改正に伴い、条ずれ等を改正するもの。

## 富加町水道事業給水条例の一部改正



水道法の改正に伴い、条例において引用する所管省庁名等を改正するもの。

## 富加町消防団員等公務災害補償条例の一部改正



消防団員等に係る損害補償の基準を定める政令の改正に伴い、損害補償に係る補償基礎額を改正するもの。

## その他



### 町道路線の廃止

**ポイント** 高畑地内の宅地開発事業に伴い、町道高畑33号線と町道高畑56号線を廃止。



### 町道路線の認定

**ポイント** 高畑地内の宅地開発事業に伴い、新たに町道高畑61号線を認定。



## 補正予算



### 令和5年度 一般会計補正予算（第9号）

補正額 ▲5,982万1千円 総額 34億4,433万9千円

**ポイント** 人件費や各種事務事業の精算による不用額等を減額し、余剰額4,088万9千円を財政調整基金に積み増したほか、福祉医療費（扶助費）590万円等が追加されました。予算を翌年度に繰越して使用する繰越明許費補正には、鉄道事業費補助金544万5千円や戸籍情報システム改修業務308万円等が追加されました。

### 令和5年度 国民健康保険特別会計補正予算（第4号）

補正額 1,833万3千円 総額 6億7,862万2千円

**ポイント** 特定健康診査等事業費124万7千円等を減額し、一般被保険者療養給付費2,200万円等が追加されました。

### 令和5年度 後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）

補正額 68万8千円 総額 9,906万1千円

**ポイント** 一般会計繰入金（保険基盤安定繰入金）等を減額し、後期高齢者医療広域連合納付金58万8千円等が追加されました。

### 令和5年度 介護保険特別会計補正予算（第3号）

補正額 0千円 総額 6億4,361万6千円

**ポイント** 繰越金の計上に伴い、準備基金繰入金の減額補正等を行う補正。



## 能登半島地震の被災地での支援活動が報告されました

3月14日の全員協議会では、能登半島地震の被災地への派遣から戻った町職員から、支援活動などが報告されました。

今回の派遣は、1月中旬から3月上旬にかけて岐阜県の要請に基づいて、9名の町職員が交代で石川県中能登町や輪島市での避難所支援や住家被害調査、罹災証明の受付事務に従事したものです。

派遣された町職員からは、活動報告とともに現地の被害状況や避難所生活の様子、被災地職員の過酷な勤務状況などが報告されました。

議員からは、物資や食料の需給状況、トイレなどの衛生環境や女性目線で感じたことを問う質疑がありました。



全員協議会のようす

# 委員会報告

## 総務産業建設常任委員会

町道稲荷北野線改良工事費などを含む  
令和6年度一般会計予算案を可決すべき  
ものと決定

委員長／山田議員、委員／酒井議員、渡邊議員、佐曾利議員

総務産業建設委員会は、3月11日に会議を開き、所管する条例案件、予算案件等について審議を行いました。

建設課関係では、町道稲荷北野線改良工事費7,000万円や、町道滝田・八反田線歩道整備工事費1,100万円について説明がありました。委員からは、稲荷北野線では舗装工事の内容を問う質疑や、一部区間の用地交渉の進捗を問う質疑がありました。

産業環境課関係では、国の電力・ガス・食料品等価格高騰重点支援地方交付金を活用した町民1人あたり3,000円分を交付するとみか元気振興券（その6）事業について説明がありました。今回で6回目となるこの事業は、3月25日から8月31日までを振興券の使用期間として実施するものです。委員からは、これまでの使用率を問う質疑があり、令和2年から始まったこの事業は、1回目97.2%、2回目97.2%、3回目97.8%、4回目97.8%、5回目96.8%の使用率であったことが報告されました。

慎重な審議の結果、その他の案件も含め、所管する案件は原案のとおり可決すべきものと決定しました。



整備中の町道稲荷北野線（高畑地内）

## 文教厚生常任委員会

とみかこども園増築工事費などを含む  
令和6年度一般会計予算案を可決すべき  
ものと決定

委員長／林議員、委員／森議員、福田議員、井戸議員

文教厚生委員会は、3月12日に会議を開き、所管する条例案件、予算案件等について審議を行いました。

こども課関係では、とみかこども園の増築工事費8,634万円や、支給の仕組みが変更される出産祝金について説明がありました。こども園の増築工事は、園児の増加に伴い保育室2部屋とトイレ1箇所が増築されるものですが、委員からは、既存園舎の一部修繕済み（雨漏り）の箇所に関連し、増築では施工方法の改善を求める質疑がありました。また、出産祝金は、町からの祝金支給額が減額されますが、国や県からの支給と併せることで、ほぼ同等の支給体系は維持されるとの説明がありました。

福祉保健課関係では、高齢者等移動支援事業324万円や高齢者福祉タクシー等借上料96万円について説明がありました。町内での買い物や通院など、移動に困っている方を対象に送迎を行う事業について、委員からは、自家用車を活用するライドシェアを促す質疑があり、執行部からはタクシー会社を中心に協力が必要であり、現在の制度では町内での実現が難しいとの回答がありました。

慎重な審議の結果、その他の案件も含め、所管する案件は原案のとおり可決すべきものと決定しました。



保育室などが増築されるとみかこども園

## 子育て支援事業に重点 板津町長が6年度施政方針を表明

定例会冒頭に、令和6年度の予算編成を含めた町政全般に関する所信が述べられました。

一般会計は、前年度を5.3%上回る過去最大規模の予算となりました。



### はじめに

この度の能登半島地震で犠牲となられた方のご冥福をお祈りするとともに、被災された全ての方々に心よりお見舞いを申し上げます。私の進退に関しては、新聞報道等でご存じのとおり、次期町長選挙には出馬しないことを改めて表明させていただきます。町政に対する熱い思いは変わらずあるものの、健康上の理由で総合的に判断した結果です。

### リスク管理体制の重要性を認識

令和6年は年明け早々、1月1日に能登半島地震が発生し、翌2日には羽田空港で日航機と海上保安庁の航空機による衝突事故があるなど、波乱の幕開けとなり、改めて災害時におけるリスク管理体制の重要性を認識したところです。

能登半島を中心とした大規模地震から、2か月余りが経過し全国各地から支援の輪が広がる一方で、今なお被災地においては、道路網をはじめとするインフラの復旧が懸命に行われているものの震災前の日常を取り戻すためには、なお相当の支援と時間が必要な状況です。

富加町においても、岐阜県と連携を図り、県の要請に沿って可能な限り職員を派遣するなど、被災地に寄り添った支援を継続しているところです。

また、この他、富加町社会福祉協議会と協力して実施している支援活動に対して、大変多くの皆さんから義援金が寄せられていますので、このように温かい手が差し伸べられていることについても、感謝申し上げる次第です。

私たちが生活するこの地方にも、甚大な被害が予測される災害等がいつ発生するか分かりません。心配される南海トラフ巨大地震は、過去の地震データ等の検証によりますと、近い将来、高い確率で起きる可能性があるとされています。同じ中部圏で発生した今回の地震を教訓として、町民の皆さんと共に町内の防災対策を改めて見つめ直す機会と捉え、想定される様々な備えを強化する必

要性があるものと強く感じているところです。

今後とも議会をはじめ町民の皆さんと一緒に考え、対策をしまりますので一層のご理解とご協力をお願いします。

### 令和5年度事業は順調に進捗

本町の令和5年度の主要な事業の進捗状況ですが、重点とする主要道路整備事業など各種事業は順調に進捗しています。

平成28年に事業を開始した川浦川左岸線道路整備事業は、地権者をはじめ多くの皆様のご協力のもと、3月末をもって滝田橋から学校橋までの区間約600mが完成を迎える見込みです。加治田地区にある町有地の活用事業として土地の分譲を整備したジャストタウン事業は、すべての区画を売却するに至っています。こども園の園児の増加に対応するために、令和7年度までに園舎を2部屋を増築する計画は、新年度の着工を前に設計業務を完了しています。

この他、記録的な物価高騰対策として国から交付される臨時交付金を活用した子育て世帯の家計支援と併せて、米作の消費拡大を目的に実施した元気米配布事業（その3）は、昨年12月に開始し1月末をもって配布を終えています。

また、同じく幅広く家計を支援する目的で実施する元気振興券事業（その6）は、全町民を対象に3月上旬に郵送し、3月25日から使用していただけるものとなっています。

### 重点事業への積極的な投資

令和6年度も現在までの施策を引き続き、人口増加策や特に国が進める異次元の少子化対策の富加町版として、子どもを安心して産み育てられる町の実現を念頭に活力のあるまちづくりにつながるための予算編成としました。

また、昨年新型コロナウイルスは感染症法上の位置付けは「5類」となったことから、既存の各種町事業やイベント等の推進や各種団体活動の支

援にも積極的に取り組んでいけるものと考えています。

幹線道路として富加町で整備を進めてきました川浦川左岸線は滝田橋から学校橋までの工区及び、とみぱーく駐車場とトイレを含めた休憩施設も併せてこの3月に竣工し、4月には供用を迎えます。これらの整備は、まちの発展に大きく寄与し、富加町の地域創生に大きく結びつくものであると大変期待しています。

一方、少子化・高齢化対策やDX（デジタル化）の推進、異常気象や地震など自然災害への備えなど大きな過渡期を迎え、行政として重点的に取り組むべき施策は益々増えていると感じています。加えて、社会保障費や人件費、公共施設の修繕や更新など行政コストは右肩上がりに増加し、その需要に対応するための予算規模も年々増加傾向であることから、財源の安定確保は喫緊の課題です。このため、既存の各種事業や公共施設の改修計画検証や、事業計画の見直しなども必要です。人件費に関しては、正職員と会計年度任用職員の適正な配置並びに住民ニーズに即した組織の編制及びコストの抑制などが、今後においても重要な課題であると考えます。

このような観点から、6年度予算は、既存及び新規事業を十分に検証した上で、早期に施策の必要な防災、DX、農業振興、道路整備や水道耐震化、教育や子育て支援（物価高騰対策）などの重点事業について積極的に投資し、町民の皆さんが安心して暮らせるまちの実現につながるための各種事業を盛り込み、編成を行いました。

## 一般会計は過去最大規模の予算

新年度予算編成については、一般会計の予算総額は34億3,900万円とし、対前年比5.3%増で、1億7,400万円の増加とする過去最大の規模としました。

主な歳出では、総務費で、会計年度任用職員の勤勉手当の追加及び役場庁舎の将来的な建て替えに備えるため整備基金の創設、DX推進に関連し国の示す仕様へ移行するためのシステムの標準化費用、民生費の子育て事業として、重点事業の中でも特に重要な園児増加に伴い、とみかこども園の増築工事及び従来から行ってきた、おむつの無償化（支給事業）の継続に加え、給食費の完全無償化、商工費では道の駅拡充整備に向けた用地測量費、土木費の道路事業では稲荷北野線整備費、教育費では小学校教材費の無償化等の多くの新規事業を盛り込みました。

コンパクトな富加町らしさを全面的に押し出し、バランスの取れた町政運営をスピード感をもって実施することが重要であり、こうした一つ一つの施策の積み重ねにより、子どもたちが活気にあふ

れ、若者や女性にも大きな夢や希望を与え、よそに誇れる「豊かで、住み続けたいまち」の実現に繋がることを期待しています。

歳入では、町税は、ほぼ前年度並みの8億4,200万円ほどを見込んでいます。

地方交付税は、地方財政計画等に基づき積算しますが、国より示された伸び率等により1億円を増額（前年比8.7%）とし、12億4,400万円を見込んでいます。

国庫支出金は、主に児童手当負担金や障がい福祉費負担金、この他、社会資本整備総合交付金を合わせて、2億5,500万円ほど（前年比5.7%）を見込んでいます。

県支出金は、第2子以降出産祝金や岐阜県知事選挙委託金等の増加により、全体で1,500万円ほど増（前年比6.5%）の2億4,100万円ほどを見込んでいます。

財産収入は、前年度において町有地（ジャストタウン加治田）の分譲地を完売できたことから、土地売却収入の減少により、600万円ほど減（前年比▲42.9%）の800万円ほどを見込んでいます。

寄附金では、ふるさと納税返礼事業について、前年実績等により2,000万円の増（前年比40%）の7,000万円を見込んでいます。

諸収入では、海洋センターのプール修繕工事にかかる財源としてB&G財団からの補助金等により、全体で1,900万円ほどの増（前年比63.7%）の5,000万円ほどを見込んでいます。

町債は、こども園の園舎増築工事に伴い、社会福祉施設整備事業債などを活用することから3,700万円ほど増（前年比78.5%）で、8,500万円ほどとなりました。

最後に、繰入金は、歳出に対する不足財源に対し、財政調整基金1億3,300万円のほか設置目的に沿った事業に対し、まち・ひと・しごと創生基金2,200万円及びふるさと納税基金1億円の計2億5,500万円をそれぞれ取崩し充当しています。

## 子育て支援策・こども園園舎増築工事などの予算に重点

歳出について、富加町第5次総合計画の基本目標に沿って、主な新規事業を申し上げます。

### ①健康に暮らせるまちづくり

新規事業として、とみかこども園の園舎増築等工事（8,634万円）、地域共生社会の実現に向け地域福祉を推進するための第4期地域福祉計画策定業務委託料（231万円）、健康づくりの取組を推進するための保健事業関係計画策定業務委託料（389万円）、子ども達のふれあいの場である南公民館児童公園の人工芝据付工事（291万円）などを計上しました。

継続事業では、富加町第3期子ども・子育て支

援事業計画の策定業務（374万円）、保護者の負担軽減を図るため、とみかこども園及びりんご保育園とみかで使用するオムツを町の支給とする事業（93万円）、結婚しやすい環境をつくり、若年層の定住促進と少子化対策を図るための結婚新生活支援補助金（120万円）などを計上しました。

### ②魅力的な生活空間のあるまちづくり

新規の道路整備事業として前年度採択された町単工事分（1,000万円）、町道の舗装点検や道路付属物など、道路ストックの総点検（1,880万円）、加治田住宅外壁塗装等工事の実施設計業務（638万円）などを計上しました。

継続事業では、重点事業である主要幹線の町道稲荷・北野線道路改良工事（7,000万円）、町道滝田・八反田線第2期歩道整備工事（1,100万円）、人口増加対策として定住促進奨励金（1,426万円）などを計上しました。

### ③快適で安心安全なまちづくり

新規事業として、災害時などでも活用できる防災トラック購入費（450万円）、土砂災害・洪水ハザードマップ修正業務（346万円）などを計上しました。

継続事業では、川小牧地内の山下池下流区域の大雨による冠水被害防止のための排水路改修工事（2,350万円）、防災備蓄品（247万円）などを計上しました。

### ④豊かな心と文化を育むまちづくり

新規事業として、小学校の教材費等支援補助金（500万円）、B&G海洋センタープールの上屋膜体取替工事及びプールトイレ改修工事（計2,322万円）、「清流の国ぎふ」文化祭2024事業補助金（88万円）などを計上しました。

継続事業では、国史跡「夕田墳墓群」の保存活用計画策定支援業務（264万円）、町民及び地域住民に生の芸術に接する機会とする文化公演事業（611万円）、とみかの歴史PR事業（59万円）などを計上しました。

### ⑤魅力と活力あるまちづくり

新規事業として、新規就農者のいちご栽培施設整備に対し、元気な農業産地構造改革支援事業補助金（3,262万円）、装置の導入に係る経営発展支援事業補助金（375万円）、新たに開発する特産品を「道の駅半布里の郷 とみか」で販売・保管するための冷蔵庫及び冷凍庫購入費（131万円）などを計上しました。

継続事業では、町民まつり開催補助金（550万円）、町特産品開発及び事業者支援のためのプロフェッショナル人材活用事業（130万円）、企業振興奨励金（1,080万円）などを計上しました。

### ⑥協働で進める自立したまちづくり

新規事業として、富加町誕生70周年記念式典の開催経費（300万円）、令和7年度で終了する富

加町第5次総合計画後期基本計画及び第2次総合戦略の計画期間の次期計画の策定のための業務委託料（348万円）、地方公共団体情報システムの標準化移行経費（2,479万円）などを計上しました。

継続事業では、各種行政証明書のコンビニ交付サービス運用経費（567万円）、住民提案型協働事業補助金（30万円）などを計上しました。

この一般会計と、3つの特別会計との予算総額は、47億8,000万円ほどで、対前年比3.6%の増となり、更に水道事業会計及び下水道事業会計を含めた予算総額については、52億9,700万円（3.2%増）ほどとなり、前年度を約1億6,500万円上回る予算としました。

## 令和6年度一般会計の主な新規事業など

内 容	予 算
とみかこども園園舎増築工事	8,634万円
町道稲荷・北野線道路改良工事	7,000万円
山下池下流排水路改修工事	2,350万円
B&G海洋センタープール上屋膜体取替工事	2,322万円
元気な農業産地構造改革支援事業補助金	3,262万円
地方公共団体情報システム標準化移行経費	2,479万円

## 一般会計／特別会計当初予算

	令和6年度	令和5年度	比 較	
			増 減	比 率
一 般 会 計	34億3,900万円	32億6,500万円	1億7,400万円	5.3%
特 別 会 計	13億4,197万円	13億5,017万円	▲8,200万円	▲0.6%
国民健康保険	6億3,700万円	6億4,900万円	▲1,200万円	▲1.8%
後期高齢者医療	1億 290万円	9,805万円	485万円	4.9%
介 護 保 険	6億 207万円	6億 312万円	▲105万円	▲0.2%
合 計	47億8,097万円	46億1,517万円	1億6,580万円	3.6%

## 企業会計当初予算

水道事業会計		令和6年度	令和5年度	比 較	
				増 減	比 率
3条(収益的)	収入	1億5,407万円	1億5,474万円	▲67万円	▲0.4%
	支出	1億5,407万円	1億5,474万円	▲67万円	▲0.4%
4条(資本的)	収入	8,218万円	7,287万円	931万円	12.8%
	支出	1億1,609万円	1億 350万円	1,259万円	12.2%

下水道事業会計		令和6年度	令和5年度	比 較	
				増 減	比 率
3条(収益的)	収入	3億6,228万円	3億6,183万円	45万円	0.1%
	支出	3億6,228万円	3億6,183万円	45万円	0.1%
4条(資本的)	収入	1億6,890万円	1億5,419万円	1,471万円	9.5%
	支出	1億7,572万円	1億9,796万円	▲2,224万円	▲11.2%

# 審議の結果

## 令和6年第1回富加町議会定例会

件名	結果	賛成	反対	林由香里	森利和	酒井一弘	山田直行	渡邊圭太	福田定道	井戸亨	佐曾利敏
承認第1号 専決処分の承認を求めることについて 富加町印鑑条例の一部を改正する条例	承認	7	0	○	○	○	○	○	○	○	○
承認第2号 専決処分の承認を求めることについて 富加町手数料徴収条例の一部を改正する条例	承認	7	0	○	○	○	○	○	○	○	○
承認第3号 専決処分の承認を求めることについて 令和5年度加茂郡富加町一般会計補正予算(第7号)	承認	7	0	○	○	○	○	○	○	○	○
承認第4号 専決処分の承認を求めることについて 令和5年度加茂郡富加町一般会計補正予算(第8号)	承認	7	0	○	○	○	○	○	○	○	○
承認第5号 専決処分の承認を求めることについて 令和5年度加茂郡富加町国民健康保険特別会計補正予算(第3号)	承認	7	0	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第1号 富加町新庁舎施設整備基金条例の制定について	原案可決	7	0	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第2号 富加町行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部を改正する条例について	原案可決	7	0	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第3号 富加町監査委員条例及び富加町水道事業及び下水道事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例について	原案可決	7	0	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第4号 富加町常勤の特別職職員の給与に関する条例の一部を改正する条例について	原案可決	7	0	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第5号 富加町職員の給与に関する条例の一部を改正する条例について	原案可決	7	0	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第6号 富加町会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例等の一部を改正する条例について	原案可決	7	0	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第7号 富加町職員の特殊勤務手当に関する条例の一部を改正する条例について	原案可決	7	0	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第8号 富加町行政財産の目的外使用に係る使用料徴収条例の一部を改正する条例について	原案可決	7	0	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第9号 富加町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について	原案可決	7	0	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第10号 富加町介護保険条例の一部を改正する条例について	原案可決	7	0	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第11号 富加町町営住宅管理条例の一部を改正する条例について	原案可決	7	0	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第12号 富加町水道事業給水条例の一部を改正する条例について	原案可決	7	0	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第13号 富加町消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例について	原案可決	7	0	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第14号 町道路線の廃止について	原案可決	7	0	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第15号 町道路線の認定について	原案可決	7	0	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第16号 令和5年度加茂郡富加町一般会計補正予算(第9号)	原案可決	7	0	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第17号 令和5年度加茂郡富加町国民健康保険特別会計補正予算(第4号)	原案可決	7	0	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第18号 令和5年度加茂郡富加町後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)	原案可決	7	0	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第19号 令和5年度加茂郡富加町介護保険特別会計補正予算(第3号)	原案可決	7	0	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第20号 令和6年度加茂郡富加町一般会計予算	原案可決	6	1	○	×	○	○	○	○	○	○
議案第21号 令和6年度加茂郡富加町国民健康保険特別会計予算	原案可決	7	0	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第22号 令和6年度加茂郡富加町後期高齢者医療特別会計予算	原案可決	7	0	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第23号 令和6年度加茂郡富加町介護保険特別会計予算	原案可決	7	0	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第24号 令和6年度加茂郡富加町水道事業会計予算	原案可決	7	0	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第25号 令和6年度加茂郡富加町下水道事業会計予算	原案可決	7	0	○	○	○	○	○	○	○	○

○賛成 ×反対 ※議長は採決に加わりません。

# TOMIKA GIKAI General questions

## 一般質問

町  
政

Q & A

一般質問は、議員が町政全般について現状や方針を問うものです。  
3月定例会では、6人の議員が16件の質問を行いました。  
掲載の内容は、質問及び答弁を要約したものです。

※紙面の都合上、実際の質問の順序を変えて掲載しています。

富加町議会では、議員1人あたりの持ち時間は60分です。  
「一括」または「一問一答」から質問方式を選択し、議長の  
許可を得て質問します。



QRコードからは  
議会録画映像を  
ご覧いただけます。

\*映像の公開には、一定の期間を要する  
ことがあります。

### 一問一答 移動手段の確保について

渡邊 圭太 議員



Q

富加町の高齢者移動支援事業の現状はどうなっていますか。

A

【川崎 福祉保健課長】

令和3年度までは、町社会福祉協議会が試験的に実施していましたが、令和4年度からは町が実施主体となって高齢者の移動支援事業を実施しています。

事業は平日の午前中のみデマンド型で運行しており、令和4年度の運行実績は、240日で延べ661人(2.75人/日)、令和5年度は1月までで201日で延べ646人(3.21人/日)と徐々に増加しつつあります。事業費は、令和4年度で委託料283万円、車両購入費等で336万円、令和5年度は予算額で委託料317万円となっています。

Q

中長期的なビジョンはどうなっていますか。また、地域公共交通計画は作成しないのですか。

A

【板津 町長】

町の公共交通施策は、第5次総合計画において「鉄道事業存続のための支援」と「交通弱者や免許返納者などの移動手段確保のための調査・研究、実現に向けての取組の推進」を掲げています。交通弱者等の移動手段確保は、まずは対象者を高齢者と障がい者を優先し

事業に取り組んでいるところで、高齢者福祉タクシー料金助成、重度心身障がい者タクシー利用料金助成、高齢者等移動支援サービス事業を行っています。地域公共交通計画は、現在のところ作成する予定はありません。

Q

地域公共交通の実現に向けた課題、展望はどうなっていますか。

A

【足立 企画課長】

鉄道事業の存続は、通学利用者の減少や車社会による鉄道離れ、運行経費の増加に伴う沿線市町の負担増に加え、公共交通利用者の高齢化によりタクシー利用にシフトすることが避けられない状況ですが、通勤通学など地域に根差した重要な公共交通であり、支援の継続をしていきたいと考えます。

一方、現在実施中の高齢者福祉タクシーや高齢者移動サービス事業などはニーズに応えるためにも事業を継続しつつ、併せて学生や子どもなど若年層の交通弱者に対しての施策拡充の可能性を検討していくことが極めて重要であると考えます。移動手段のニーズに対して、その実現の可能性を個別に検討していくことで、必要な移動手段の方向性は見えてくるのではないかと考えます。

**一問一答****町道滝田69号線(農免道路)の  
除草業務について**

酒井 一弘 議員

**Q**

富加町では、町道の除草業務の作業範囲はどこまでですか。

**A****【山田 建設課長】**

明確に「ここまで」という作業範囲はありませんが、道路管理者として道路敷となっている部分は管理しなければならない認識は持っています。しかし、町が管理する道路延長は131kmほどあり、限られた予算の中で町内全域を作業するのは大変困難なため、まずは交通の安全性を優先し、見通しや通行が困難にならないよう歩車道際や路肩を主に行っており、農地沿いの法面やご家庭の庭先等は地権者の方にご理解ご協力のもと刈っていただいているのが現状です。

**Q**

町道法面の草刈りは、作業発注されていますか。

**A****【山田 建設課長】**

道路の法面に限らず、除草業務は富加町シルバー人材センター又は建設業者等に委託し、雑草が一番伸びる時期の6月から9月にかけて、通学路や交通量の多い幹線道路について実施しています。

**Q**

法面を草刈りしてもらえる手立てを考えてもらえませんか。

**A****【山田 建設課長】**

道路敷の法面は範囲も広く、法面全体を除草するのは財政的には非常に厳しいと考えています。

また、土地改良事業などで整備された道路は、営農と密接な関係にあることから、所有者をはじめ土地改良区や自治会の皆様などのご協力により、何とか維持できています。

年間の除草回数を減らし、実施する箇所を今以上に限定することで法面の除草範囲を広げることができそうですが、除草を実施する地域が偏ってしまうことのないよう優先度を見極めるとともに、効率的に実施していけるよう業務に係る予算の増額を盛り込んだところです。

今後も道路に面した土地の除草は、地権者の皆様のご協力もいただきながら、通学路や幹線道路等を重点的に実施していきたいと考えています。

町道滝田69号線の道路法面のようす  
(大平賀地内)**一問一答****さくら猫の無料不妊手術について**

酒井 一弘 議員

**Q**

町内において、飼い主のいない猫による苦情は寄せられていますか。

**A****【川崎 産業環境課長】**

飼い主のいない猫によるふん尿等による苦情は寄せられていますが、件数までは把握してなく、年間数件ほどの苦情が寄せられています。

**Q**

公益財団法人どうぶつ基金による「さくら猫の無料不妊手術」の制度を知っていますか。

**A****【川崎 産業環境課長】**

さくら猫の無料不妊手術とは、公益財団法人どうぶつ基金で行っており、飼い主のいない猫にTNR活動、いわゆるTrap/捕獲し、Neuter/不妊去勢手術を行い、Return/元の場所に戻すといった活動で、不妊去勢手術したことが分かるように耳先をさくらの花びらのようにV字カットをします。

この活動は、飼い主のいない猫の繁殖を防止し、地域の猫を一代限りの命として全うさせることで、飼い主のい

ない猫に関わる苦情を減らすことに寄与する目的として活動されていることで認識しています。

**Q**

飼い主のいない猫に対する「TNR活動」を富加町として取り入れてはどうですか。

**A****【川崎 産業環境課長】**

ふん尿等の住環境被害の防止が図れることから、町としての登録について、検討していきます。ただし、活動は行政が実施するのではなく、地域住民で構成する活動団体が実施することになりますので、町として登録をした場合は活動団体の募集や啓発を行っていきたく考えます。



## 一問一答 歴史的文化財の保存について

林 由香里 議員



**Q** 夕田墳墓群の国史跡指定に伴う仕事量の増加から、文化財専門官の増員や後継者養成、待遇改善（研修費の公費負担等）をどう考えていますか。

**A** **【板津 町長】**  
町は、「日本最古の戸籍ゆかりの町」を誇りに歩んできており、町の身の丈に合った手法や規模で取り組み、少しずつではありますが担当の職員とともに成長してきたところです。文化財専門官の増員や処遇は検討課題ではありますが、他の職員と同様な対応をしており、大きく不足しているとは考えていません。

**Q** 夕田墳墓群の杉洞1号墳近くの用地買収の予定はありますか。また、町内の住民宅にある歴史的文書・民俗資料・伝承の掘り起こしをするための具体的な方策はどうしますか。

**A** **【川合 教育課長】**  
杉洞1号墳は、夕田墳墓群の一つとして国史跡への追加指定を目指しており、地権者の方に国史跡指定についての同意をいただくため、用地買収の条件等について話し合いを継続しているところです。

住民の方が所有している歴史的な文書や民俗資料などは郷土資料館に収蔵され、台帳等で分類し記録されています。現在も、町のマイタウンなどで寄贈の呼びかけを行っています。また、令和5年度は郷土資料館で町内に存在した劇場「友栄座」の写真展を開催し、関連資料を募集したところ、多くの写真や情報が寄せられました。情報収集には半布里コミッティの方に協力をいただいたところです。今後も企画展とリンクさせながらテーマを設定して、歴史的な文書や民俗資料、伝承などの掘り起こしを図りたいと考えています。

**Q** 町内の住民宅にある文化財や民俗資料を収集所蔵するため、郷土資料館や展示室の増築計画はありますか。

**A** **【板津 町長】**  
今のところ、郷土資料館や同展示室を増築する予定はありません。町民の要望や気運の醸成がないと難しいと考えています。

## 一問一答 歴史的文化財の活用について

林 由香里 議員

**Q** 町内のボランティア団体が歴史文化財をモチーフにした製品やお菓子を試作していますが把握していますか。町特産品として活用するために後押ししていく計画はありますか。

**A** **【川崎 産業環境課長】**  
ボランティア団体などが製品を試作していることは把握しています。町の特産品として活用するための後押しについて具体的な計画はありませんが、試作時や完成時にお声がけいただければ、団体の皆様と協議させていただき、できる限りのご支援をさせていただきます。

**Q** ふるさと納税返礼品として、現在の文化財をモチーフにした製品だけでなく、広げていく計画はありますか。

**A** **【足立 企画課長】**  
現在、ボランティア団体の「半布里コミッティ」が、斎藤新五と富加の歴史4点セット（便箋、キーホルダー、トートバッグ、御城印）と、富加の歴史グッズ5点セット（トートバッグ、クリアファイル、野帳、付箋、書籍）を商品開発され、ふるさと納税返礼品として提供されていることを認識しています。現在のところ、歴史的な文化財を活用

したさらなる返礼品開発についての具体的な計画はありませんが、国史跡「夕田墳墓群」をPRする商品など、関係団体や教育委員会、産業環境課などと連携し、返礼品開発について可能性を検討してみたいと思います。

**Q** 歴史的な文化財を観光資源として活用するための遺跡建物の復元や、駐車場、トイレ、道路案内板の整備等の充実をどう計画していますか。

**A** **【川合 教育課長】**  
遺跡建物の復元は、役場周辺にある東山浦遺跡は半布里戸籍に記載された村の跡と考えられており、現在までに150棟ほどの竪穴住居跡が確認されていますが、建物や道路等の建設に伴う発見であるため現存はしていません。

古代の建物遺構を復元するとすれば、AR技術を利用してスマートフォンをかざして見られるようにする方法や、縮小した復元模型に当時の生活の様子を表現して展示するなどの方法が考えられます。

## 一問一答 町民への歴史遺産の価値の周知について

林 由香里 議員

**Q** 町民に「富加の宝」として文化財を認識してもらうためには、まずは役場職員全員がよく知ることだと思いますが、文化財に関する役場職員研修や新人研修はどうなっていますか。

**A** 【澤野 総務課長】  
文化財に関する研修の受講については、文化財担当以外の職員は、自身が担当する業務がありますので、各担当業務の研修を受講することに重点をおいているところです。職務外の事例では、職員互助会が半布里戸籍の講座を開催したことがあります。新人研修については、町の町勢要覧を用いるなどして町内の公共施設などを説明する際に文化財についても触れ、現地を案内することがあります。

**Q** 半布里戸籍を中心として「富加町は歴史の町」という認識を広げるための具体策な計画はありますか。

**A** 【足立 企画課長】  
従来から町ホームページや観光パンフレット、ウォーキングマップなどで郷土資料館や半布里戸籍を紹介し、併せてフェイスブックで歴史に関するイベント情報などの提供を行っています。令和6年度は、清流の国ぎふ文化祭2024事業の一環として、富加町歴史シンポジウムの開催が計画され、夕田墳墓群や半布里戸籍に関する基調講演やパネルディスカッションなどが予定されています。

また、名古屋市で行われる日本城まつりへの出展も計画されています。

新たな計画も大切ですが、今後もこうした取組を繰り返し継続していくことが「富加町は歴史のまち」というイメージを定着させるための方法として重要であると認識しています。

**Q** 富加町誕生70周年記念行事として、歴史的行事はありますか。

**A** 【澤野 総務課長】  
誕生70周年記念として、テレビ等でおなじみの春風亭昇太さんによる講演会の開催を予定しています。春風亭昇太さんは、お城への造詣が深く、以前、富加町の加田田城址を見学されたことがあり、大変、興味深いお話をしていただけると期待しています。

**Q** 昭和55年刊行「富加町史」の改編の予定はありますか。

**A** 【坂井 教育長】  
近年、新しい史料の発見もあり富加町史の内容が古くなっていることは認識していますが、改編のためには編纂室を立ち上げ、時代ごと（原始古代・中世・近世・近代・民俗）に有識者による編集部会を開催し、執筆者を構成して議論を重ねる必要があります。膨大な費用、時間及び編纂事務に従事する職員も必要になりますので、現時点では改編は今後の検討課題であると考えています。

## 一問一答 文化財部門の独立、組織再編について

林 由香里 議員

**Q** 現在、文化財部門が教育委員会内にあることで、どのような良さがあり、どのような仕事上の限界がありますか。

**A** 【川合 教育課長】  
教育財産としての活用促進のため、学校教育との連携の強化を図れることが、文化財部門が教育委員会にあることの良さであると考えています。

近年では、文化財の観光利用も文化財保護の一側面であるとされており、文化財部門を首長部局（まちづくり部門や観光部門）へ移管する市町村が多くなってきています。文化財部門が教育委員会にあることでの仕事上の限界という点としては、こうした部分にあると考えています。

**Q** 歴史的な文化財を観光に活用するには、企画課の中にまちづくり部門を創設し、文化財部門を入れて組織改編を図る必要があると考えますがどうですか。

**A** 【澤野 総務課長】  
まちづくり施策という点では、企画課が何らかの形で関わりを持ち、文化財を担当する教育課や観光

を担当する産業環境課と連携を深め、繋がりを持つことは大切なことであると考えていますが、現在の企画課は、移住定住施策のほか町の財政、デジタル化の推進、広報誌の発行など多岐にわたる業務を限られた職員数で担当しており、連携を図ることが精一杯の状況であり、新たな部門の創設は、現在のところ大変厳しい状況であると考えます。

**Q** 専門の観光コンサルタントの採用や観光部門職員の育成で、町として観光に力を入れていく必要があると考えますがどうですか。

**A** 【川崎 産業環境課長】  
現在、産業環境課において観光担当職員を配置し、各種イベントで夕田墳墓群の他、半布里戸籍等の歴史的な文化財のPRを行っており、力を入れているところですので、現時点では専門の観光コンサルタントの採用は予定していません。今後も、文化財担当の教育課と連携して、観光面での情報発信等に努めていきます。

## 一問一答 町の介護保険の将来について

井戸 亨 議員



**Q** 高齢化率の見通しをお聞きます。

**A** 【川崎 福祉保健課長】  
現在（令和6年2月末）での富加町の高齢化率は、30.7%となっています。令和2年の富加町人口ビジョンでは、2035年（令和17年）で36.6%、2045年（令和27年）で40.2%と徐々に増加する予測がされていますが、今年策定した介護保険事業計画では、近年の人口増加を反映しているため、2035年で29.6%、2045年で26.9%と、令和10年頃をピークに高齢化率、高齢者数ともに減少していく予測となっております。

**Q** 一般会計から介護保険会計への繰出し金は過去10年間の推移はどのようになっていますか。

**A** 【川崎 福祉保健課長】  
事務費等の負担分を含めた一般会計からの繰出金総額では、10年前の平成25年度で5,159万円、平成28年度で5,820万円、令和元年度で7,359万円、令和4年度で8,407万円となっており、平成25年度と比べ1.6倍ほどの繰出金額となっています。

**Q** 制度が変わらなければ、今後、一般会計から介護保険会計へ繰出しがどのような見込額になると考えられますか。

**A** 【川崎 福祉保健課長】  
現在の介護報酬での試算では、今後も介護給付費は増加傾向が続き、団塊の世代が90歳となる2040年（令和22年）には、介護給付費等の町負担分だけでも1億円程度が見込まれ、事務費の負担分も含め、1億1千万円程の繰出金が必要になると見込んでいます。



## 一問一答 地震対策について

井戸 亨 議員

**Q** 建造物の耐震診断補助金の利用状況をお聞きます。

**A** 【山田 建設課長】  
建築物の耐震診断は、昭和56年5月31日以前に着工した木造住宅を対象としており、岐阜県の登録を受けた木造住宅耐震相談士を派遣する方法で支援を行っています。その際の費用はすべて町で負担しています。

利用状況は、平成15年度から通算で44件の活用をいただいております。直近の利用状況は、令和元年度2件、3年度1件の計3件の活用となっております。

**Q** 建築物等耐震化促進事業費補助金の利用状況をお聞きます。

**A** 【山田 建設課長】  
建築物等耐震化促進事業は、地震発生時における既存建築物等の倒壊等による災害を防止し、震災に強いまちづくりを進めることを目的として、事業を実施しています。この事業は、メニューが2つあり、耐震補強を行うものと除却するものがあります。いずれも耐震診断を行った上で、耐震性能がないと診断されたものが対象となります。

利用状況は、平成16年度から通算で3件活用されています。令和元年度以降では0件です。

**Q** 水道管の耐震工事の前倒しを考えるべきではないですか。

**A** 【山田 建設課長】  
管路の耐震化整備は、水道事業の将来構想を示す富加町水道事業ビジョンに令和11年度までの年次計画を示しています。この計画の管路は、災害時に特に優先して給水を確保する必要がある指定避難所などへの管路や、耐用年数を過ぎた老朽化の著しい管路について耐震化整備を行っています。いずれも国の補助事業を活用した管路整備です。

町の管路の更新率は、ここ5年間では年間1.5%から2.4%の間で推移しています。全国平均では0.7%前後、県内では0.6%前後、類似団体では0.5%前後で推移していることを鑑みれば、比較的高い更新率と言えます。基幹管路の耐震化率も、令和3年末時点ですが17.0%であり、類似団体が8.4%で平均を大きく上回っている状況です。

耐震工事は相当な費用と労力を要します。現在の経営状況や人員では、前倒しとなると経営状況を逼迫する恐れがあります。このあたりのバランスを注視し、まずは富加町水道事業ビジョンに基づき、確実な更新に努めていきたいと考えています。

**Q** 現在、3歳未満児保育の入園希望はどのようになっていますか。

**A** **【野村 こども課長】**  
令和6年度入園は、昨年9月25日から4月入園の申込書と説明資料の配布を始め、10月末を提出期限としましたが、その後もやむを得ない事情があれば申込みを受け付けており、とみかこども園と、りんご保育園とみかを合わせた申込人数は2月末時点で35人となっています。この人数に、現在お預かりしているお子さんの数を加えると、令和6年4月から3歳未満児の合計人数は、69人になります。

**Q** 入園希望に応えることができていないのであれば、何が原因と考えられますか。

**A** **【野村 こども課長】**  
3歳以上のお子さんは、毎年全員が希望どおりに入園できています。令和6年度の3歳未満児は、現在も可能な限り受付を行っているところです。  
受け入れができない場合の主な要因は、保育士の配置基

準があります。毎年11月に、翌年度見込まれる園児数を算出し、配置基準に照らして保育士の人件費を予算計上し、必要な人員を確保していますが、入園希望者が当初の見込みを上回ると、配置基準に適合しなくなることがあります。そうした場合、5月以降の入園希望者が現れても、受け入れることは難しくなります。

また、3歳未満児だけではなく、3歳以上を含めた園児全体の人数の増加への対応も急がれており、とみかこども園については保育室2部屋とトイレの増築工事の予算をお願いしているところです。

**Q** 就労を問わず、誰でも保育所に預けることができる「こども誰でも通園制度」を創設してはどうですか。

**A** **【野村 こども課長】**  
国は「こども誰でも通園制度」を令和8年度から全国の自治体で実施することとしています。現在、提供する保育サービスの必要量の推計や、実施する場所等の検討を始めているところです。詳細が決まりましたら、町民の皆さんにお知らせをしていく予定です。

**Q** 令和6年度当初予算に用地取得に係る業務委託費108万1千円が計上されていますが、どういう業務ですか。

**A** **【板津 町長】**  
駐車場の不足問題は、利用者はもとより富加町議会からも拡充について要望が寄せられたことから、令和2年度に道の駅施設拡充基本構想を策定し、令和3年度には道の駅拡充整備に伴う官民連携手法の実現性調査を国の補助事業として実施したところです。令和4年度には、本事業に関心を持つ町内事業者との意見交換会を複数回開催し、事業の実現可能性について検証作業を進めてきました。

今年度、事業実施について熟考を重ねた結果、エリアマネジメントの取組について、事業規模・採算性等の理由から包括的に取り扱うことや同時期の事業実施等は難しいと結論付けざるを得ませんでした。当面はそれぞれの場所での個別の活性化策の推進に力を注いでいくべきと考えます。

こうしたことから、道の駅については駐車場が不足状態であることには変わりなく、駐車場の拡充の必要性は、概ね町民の理解も得られており、原点に戻り、まずは駐車場の拡充を第一目標として事業をスタートすることが本町の規模に合った事業手法ではないかと考えます。

令和6年度の予算について、駐車場の拡充に向けた用地取得に係る不動産鑑定業務で20万1千円、測量業務で88万円の合計108万1千円を計上しています。

**Q** 道の駅拡充のための計画の完成までに今後、いくらかかるのかをお聞きます。

**A** **【板津 町長】**  
今後、用地費の他に造成費や駐車場整備工事費が必要となりますが、現時点でいくらかかるかは算出していません。  
なお、事業スケジュールでは、4年から5年ほどをかけての実施を見込んでいます。



道の駅の駐車場のようす（羽生地内）



**Q** どのような要請や判断で町職員を派遣されたのですか。派遣期間や1日のスケジュール、支援内容はどのようなものでしたか。

**A** 【澤野 総務課長】

能登半島地震の発生後、国の制度である「応急対策職員派遣制度」に基づき岐阜県は、石川県中能登町と輪島市を支援する指定がなされました。

現地派遣は全て岐阜県からの要請に基づき、派遣職員の人選は通常業務に支障をきたさない範囲で特定の課に偏ることなく、若手職員に経験を積ませることも併せて派遣命令を出しています。住家被害調査や罹災証明書の受付など一定の経験と知識を必要とされる場合は、係長級の職員にも派遣命令を出しています。

派遣期間は、物資の搬入・仕分け・補充、炊き出しの配膳、トイレ掃除、施設の換気、ごみの分別・整理、施設の巡回などの避難所運営支援では一週間程度、住家被害調査や罹災証明書の受付業務は、3日から4日程度です。スケジュールは、避難所運営支援では一日24時間を3つのクールに分けられ、昼間勤務または深夜勤務などに分かれて配属されます。

**Q** 支援体制など万が一、当町で災害があった場合、参考となることがありますか。

**A** 【澤野 総務課長】

派遣から戻った職員の派遣記録書の内容から、必要とされる物資と支援物資の需要と供給がうまく合っ

ていないということ、また避難者の平均年齢が高いこともあり二次避難を勧めているが移る方が少なく、避難所の統合等が進まないことが挙げられます。自立支援の在り方がこれからの課題と考えています。

被災地では、土砂崩れ等の影響で道路網が寸断され、通行可能な道路が限られています。復旧から復興へと移っていく時には、富加町でも長期に取り組んでいる地籍調査事業の成果が、復興の一助になってくると思っています。

**Q** 町社会福祉協議会との協力体制、災害ボランティアなどの体制は十分ですか。

**A** 【澤野 総務課長】

町社会福祉協議会とは、令和2年度に災害ボランティアセンターの設置及び運営に関する協定を締結し、必要な資機材や費用の支援を行っています。昨年度開催した防災フェアでは、関連ブースの出展をされました。今年度は防災訓練時に炊き出し訓練を実施され、この他にも毎年ボランティア講座を開催されるなど、日頃より連携を図っています。

なお、能登半島地震に係る義援金活動が現在も実施されているところです。



支援活動（住家被害調査）



支援活動（住家被害調査）



支援活動（炊き出し補助）



支援活動（ごみ分別作業）

**Q** 町職員は、仕事が増えれば仕事をこなすための時間と労力が要ります。過去のコロナ対策交付金対応時を考えた時、町職員の働き方を考える上で良い方法がありますか。職員を増やしますか。

**A** 【澤野 総務課長】

コロナ対策交付金や物価高騰対策交付金など、その時々々の社会情勢により、国からは県や市町村へ財源が交付され、地方職員はその都度、交付金を最大限活用する独自の対策を講じる必要が求められます。近年においては、国による地方分権や自治体DXの推進など行政需要は年々高まっており、それに伴う責任や事務量も増加しています。

当町は、過去には行政改革の一環や美濃加茂市との合併を想定し、職員数の削減を図ってきた経緯がありますが、徐々に職員数を増やし、現在では、職員定数85名の範囲内で対応しています。また正職員の他にも、会計年度任用職員を雇用し行政サービスが低下することのないよう対応しているところです。

令和6年度からは、新たに時差出勤勤務制度を正式に導入するなど、職員が働きやすい環境整備にも努めていく予定です。

**Q** 職員の有給休暇、育児休暇の取得率はここ数年どの様な状況ですか。残業などの時間外勤務はどうか。今後の見通しはどんな状況ですか。

**A** 【澤野 総務課長】

ここ数年の年次有給休暇の平均取得日数は10日を超えており、3日間の夏期休暇や、病気休暇、忌引き、介護・看護休暇などの特別休暇（有給休暇）も取得されています。女性職員の産前産後休暇や育児休業は、100%取得されていますが、男性職員の育児休業の取得実績は現在のところありませんが、配偶者の出産に伴う休暇（2日）や、子の看護のための休暇（5日/1人につき）の取得実績はあります。

時間外勤務は、全ての職員で平均すると月5時間程ですが、中には健康被害が懸念される月45時間を超える月が発生する職員が数名いますので、令和6年度より「長時間勤務に対する面接指導実施要綱」を定め、所属長が職員の勤務状況を把握し、産業医等の面談や業務内容の調整など必要な措置を講じながら、職員の健康障害の防止や長時間勤務状態の解消に努めていく考えです。

**Q** 町長の富加町の将来像はどの様に考えていますか。所信表明（施政方針）が示されましたが、令和6年度の予算をも含めて将来像をお聞きます。

**A** 【板津 町長】

令和6年度予算については、今議会初日に「施政方針・予算編成の大綱について」で述べたとおりです。将来像については、今限りで退任を表明している関係上、控えさせていただきますが、12年前に町長選挙に出た時の「富加町の現状と将来像について」と題し、出した文書と思いは変わっていません。

当時のこの文書では、「本町の人口は平成7年までは6,000人ほどで推移したものの、その後一時5,500人台まで減少しました。住みやすい本町においては、人口増加策を政策の中心に据え、町の総合計画や行財政改革を進めていくことで、健全で調和のとれた発展が今まで以上に見込め、人口増が十分に見込めると書いています。福祉、教育、産業振興などの各政策やインフラ整備など、掲げ

たマニフェストを確実に実行していくことで、夢と希望を持って子育てができ、住んで良かったと思えることが町のあるべき姿だと考えています。」と書いています。

基本的には、これまで2期目、3期目も考え方は変わっておらず、こうした考えのもと、残りの任期も務めていきたいと考えています。



町第5次総合計画で将来像に掲げている「ジャストミカライフ」

## 一問一答 富加町の人口増加対策について

森 利和 議員



**Q** 町は人口増加策が順調ですが、その要因は何ですか。

**A**

【板津 町長】

人口減少に歯止めをかけるため「まちひとしごと創生法」が平成26年度に国で制定されたことを受け、平成27年度には「富加町総合戦略」を策定し、以降、子育て支援策をはじめ新築住宅取得や企業立地に対する奨励金制度、ジャストタウン土地分譲事業などで定住を促進し、人口増加につながるための様々な施策に取り組んだ成果であると考えます。

**Q** 近隣市町と比較して、町の人口増のため移住してもらう人への施策ではなく、今暮らしている住民に対して手厚く投資していただきたいですが、その施策はありますか。

**A**

【板津 町長】

今暮らしている方への支援については、子育て支援分野では、今議会で新年度予算に計上している小学校教材費やこども園の副食費無償化事業、伴走型相談支

援、すこやか赤ちゃん誕生祝い金、小学校入学祝い金などの支援があります。農業分野では、町の施策に寄り添った支援を行っており、充実した住民サービスを行っていることなどが挙げられます。

**Q**

町の財源は人口増で増えましたか。町の経費は人口増によって総額いくら増えましたか。

**A**

【足立 企画課長】

「富加町総合戦略」を策定した平成27年度と直近である令和4年度決算を比較すると、人口は81人の増加、町民税は11.7ポイント増加、町民税、固定資産税、軽自動車税、たばこ税を合計すると8,800万円ほど増加していることから、人口増加により富加町の財源は増えている状況です。令和4年度決算における富加町の経常費用は約30億円で、うち業務費用は約17億円（内人件費は約7.4億円、物件費は約9.3億円）、社会保障給付や補助金の費用は約13億円です。

## 一問一答 富加町の将来を見据えたDXの推進について

森 利和 議員

**Q** 今後の町の財源不足・人手不足に対応するため、自治体DXを推進されますか。

**A**

【足立 企画課長】

自治体DXの推進目的は、現在のアナログ的な体制を改善し、住民の利便性向上、行政サービスの向上、業務の効率化、新たな価値の創出などが期待され、将来の自治体運営のためには、なくてはならない重要な施策であると認識しています。そのため町では、令和6年度にDX推進計画の策定を予定し、計画に従いスピード感をもって事業を進めていく予定です。

**Q** 令和6年度はDXの何に取り組みますか。

**A**

【足立 企画課長】

令和6年度の取組として、一つは基幹業務システムの標準化について取り組めます。国・地方等のデジタル基盤の統一化・共通化について、地方公共団体情報システムの標準化に関する法律により令和7年度末を期限に地方自治体の基幹業務システムの標準化が義務付けられています。システム標準化によるメリットは、行政運営の

効率化・住民サービス、利便性の向上、システム間の互換性確保、コスト削減の効果が見込まれます。

二つ目の取組は、DX推進計画の策定です。今年度は、DX推進計画の素案を作成しましたので、素案に沿ってDX推進計画の策定を予定します。具体的な取組事項は、推進体制の構築、窓口業務である住民サービスの向上と庁内業務の効率化に必要な各種事業の洗い出し・事業費等の検討、推進計画のロードマップの作成、AIの利用促進ガイドラインの検討・策定、DX・セキュリティ研修の実施などの業務まで行えればと考えています。

**Q**

DX推進部署または専任担当者を置いてほしいがどうですか。

**A**

【足立 企画課長】

現在のところ、推進計画は令和6年度に策定予定ですので、推進計画の取組内容によっては、専門のノウハウや技術が必要となる場合も出てくる可能性はあります。その場合には改めて、部署やDXに精通した企業のプロパー人材を含め専任担当職員について検討する必要があると考えます。

# 議 会 活 動

1月～3月

## 1月

- 7日 町消防団出初式  
二十歳を祝う集い
- 10日 町都市計画審議会
- 16日 議会広報委員会  
町介護保険等運営協議会
- 22日 例月出納検査  
可茂地域町村行政懇話会
- 23日 町障がい者計画等策定委員会
- 31日 議会運営委員会  
地方財政対策等説明会

## 2月

- 4日 町消防団機動演習
- 9日 美濃加茂市学校給食センター運営委員会  
可茂町村議会正副議長研修会
- 20日 例月出納検査  
町国民健康保険運営協議会
- 26日 議会運営委員会  
中学校組合議会
- 28日 夕田墳墓群保存活用計画策定委員会

## 3月

- 1日 町空家等対策協議会
- 5日 町社会福祉協議会理事会
- 6日 第1回定例会（～15日）
- 7日 議員全員協議会
- 8日 双葉中卒業式
- 11日 総務産業建設常任委員会
- 12日 文教厚生常任委員会
- 13日 可茂地域一部事務組合議会
- 14日 議員全員協議会
- 16日 中部国際医療センター記念式典
- 19日 町社会福祉協議会評議員会
- 21日 例月出納検査
- 25日 富加小卒業式
- 26日 県町村議会議長会  
町介護保険等運営協議会
- 27日 長良川鉄道新型車両出発式  
可茂地域懇談会
- 28日 とみかこども園卒園式



3月定例会を4名の方が傍聴されました。  
ご意見・ご感想の一部を紹介します。

- ・（一般質問より）野良猫対策は、空き家問題や多頭飼いや、いろいろなつながりがあるが、やはり飼い主の意識が大事であると思います。
- ・（一般質問より）町の歴史を重んじていくのは重要と考えますが、たくさんの課題、問題があり大変であると思いました。  
貴重なご意見・ご感想ありがとうございました。



## 編 集 後 記

新年度予算が成立し4月から新しい年度がスタートしました。今年度は現職の板津町長が退任され、今までとは方針が異なる新しい町政になることと思います。板津町長、3期12年お疲れ様でした。

令和6年度の富加町一般会計予算は過去最高の34億3,900万円（対前年比5.3%増の1億7,400万円増）となりました。予算額アップの多くは人件費のアップ。町の職員が仕事をしっかり行っていたためにも必要なことだと思いますし、日本の流れに沿ったものです。しかし、町の財政は財源不足により依然として厳しい状況のままです。仕事内容を見直し、町民のためにやらなければならないものは残し、必要性が限定されている事業は止めるなどメリハリのある町政予算を考え、事業の再構築、DXの推進、各部署の残業を失くすなどすれば、町予算の減額はできるはずだと思います。

議会は町政のチェックをする大切な仕事をしています。町民の皆さんにも今以上に議会に関心を持ち、真に富加町のことを考え、議会にたくさんのご意見をいただくことを望みます。

私は今回3月議会で令和6年度一般会計予算に反対しました（財源不足なのに過去最高予算）。町長も新しい人になります。町民の皆さん、町政に関心を持ってください。

（文責 森利和）

議会広報委員会

委員／酒井一弘・森利和

＼町民のみなさん／

## 町議会を傍聴してみませんか？

富加町マスコット  
キャラクター  
とみばん



本会議当日は、役場1階ロビーでライブ中継を視聴できます。

次回定例会は6月に開催

詳しくは、議会事務局までお問い合わせください。

いま もっと、まちのこと



これが知りたい!!

# 富加町版 異次元の 少子化対策とは？



とみかこども園

3月定例会では、令和6年度の町の各種会計予算が決定しました。一般会計は過去最大規模となり、このうち子育て支援に関連する事業が「富加町版 異次元の少子化対策」として目玉事業の一つに掲げられています。

どのような子育て支援事業が行われるのか、町の担当課に聞きました。

## Q1 子育て支援事業の内容は。

令和6年度は、とみかこども園と、りんご保育園とみかで使用するオムツを町で支給する事業の継続や、小学校教材費とこども園園児の給食費（副食費）の無償化を行います。

また、物価高騰に伴う小・中学校の学校給食費の値上がり分を町費で負担するなど、子育て世帯への経済的な負担軽減策を実施します。

## Q2 とみかこども園の増築が行われるのですか。

ここ数年、町の人口は微増傾向で、子どもの人口も増えています。特に園児については、現在、とみかこども園は1クラス30人以内で保育を行っていますが、令和7年度からの園児数の増加が確実で、年少・年中・年長児は60人を超えてくるため、令和6年度に保育室2部屋とトイレ1箇所を増築し、それぞれ3クラスとします。園舎増築に伴い、園庭の遊具の一部撤去や移設も行うため、合わせて工事費8,600万円ほどを見込んでいます。

## Q3 出産祝金は、支給の仕組みが変わるのですか。

出産祝金は、令和3年度から町独自で出生児1人あたり10万円の支給をスタートしました。令和4年度からは第1子10万円、第2子20万円、第3子以降30万円に変更しました。

一方、国は令和5年2月から10万円相当(出産・子育て)の応援ギフトの支給(令和4年4月遡及適用)を始め、岐阜県は令和5年4月から第2子以降を対象として出産祝金10万円を支給する制度を始めました。

出産祝金や応援ギフトなど、国・県・町の経済的支援をトータルで考え、町は令和6年度からは第1子5万円、第2子10万円、第3子以降20万円の出産祝金の支給に変更させていただきましたが、制度開始当初とほぼ同等の支給体系は維持されています。

子育て支援事業に関するお問い合わせは

町こども課 TEL 0574-54-2121 (直通)

とみかのぎかい | 2024.5.1  
No.193

編集/議会広報委員会 発行/岐阜県富加町議会

富加町議会 議会事務局

〒501-3392 岐阜県加茂郡富加町滝田1511

TEL 0574-54-2161 FAX 0574-54-2461

URL <https://www.town.tomika.gifu.jp/chosei/gikai/>

